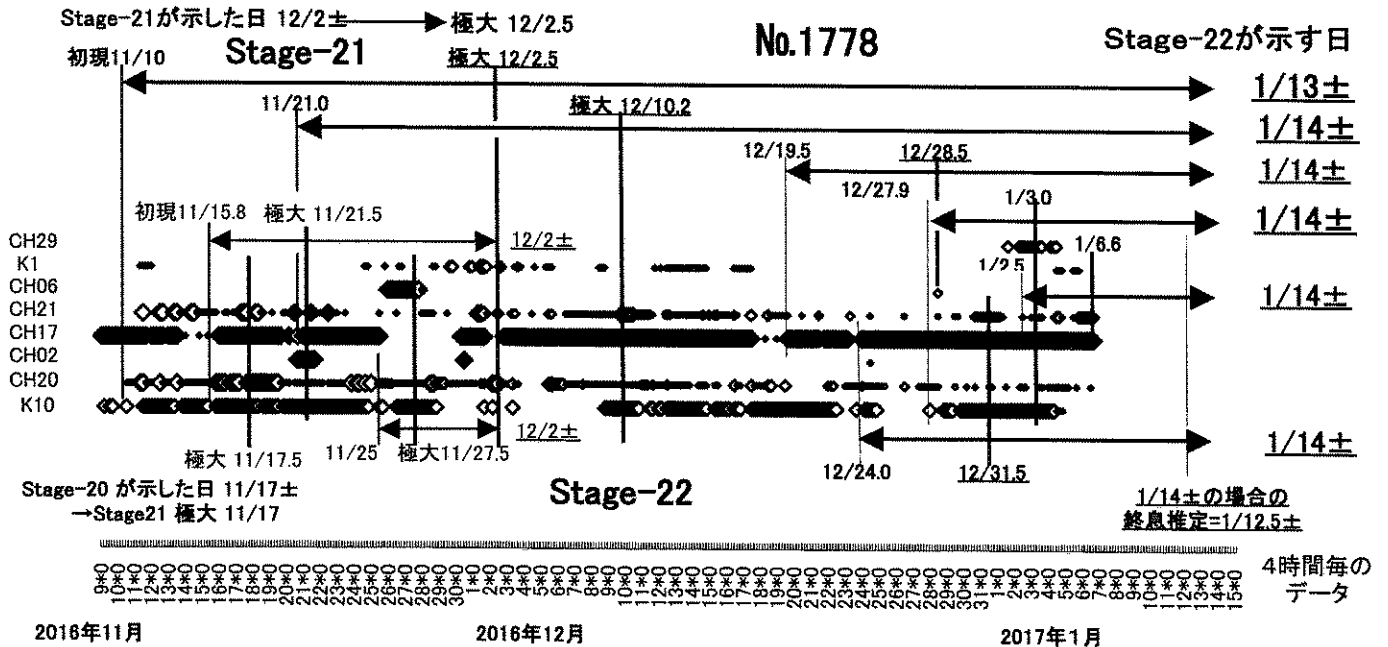


原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

STAGE-22 複数の極大出現するも 01/14±を示す関係に変化無し



2008年7月初旬より8年半継続と云う過去例最長継続前兆のNo1778前兆は、現在第22ステージ認識です。

E-mailとFAXで日々配信しております「地震前兆検知観測情報」では既に報告済ですが、12/10の極大以降、上図のとおり複数の極大認識ができる変化が観測されてきました。12/10が最終極大の場合は1/5に前兆終息となりますが、1/14±を示す現在までの前兆関係認識が正しい場合、本日の極大が最終極大である場合は、1/12.5±まで前兆が継続出現する計算となります。

- ◆推定領域: 右図点線領域=大枠推定域
右図太線領域内=可能性考え易い
(岐阜県~福井県領域の可能性有
石川県南部、滋賀県北部等含む)
(※ある程度火山帯に近い領域の可能性有)

※=1/14±を示す火山帯近傍地殻地震前兆が同一活動であった場合の参考推定。

- ◆推定規模: M7.8±0.5
(※ある程度群発的複数地震活動の可能性も有)

- ◆推定時期: 前兆終息確認後推定
現状考え易いのは1月14日±1

★1/14段階で前兆継続の場合は発生時期のみ再考し続報予定

- ◇推定地震種: 震源30km以浅の陸域日本列島の地殻地震
- ◇推定発生時刻: 午前9時±1時間
又は(午後6時±3時間)

今後に新たな極大が出現しない場合、1/12.5±前兆終息となりますが、1/13午後までは見る必要がありますので、一日前となります。

新たな前兆が継続出現してはおりませんので、現状を見る限りは、現在が示す1/14±に次ステージの極大が出現すると云うパターンは少々考えにくい状況に見えます。

今後新たな継続前兆が出現しない限り、1/12.5±に前兆が完全終息した場合は、現在が示す1/14がNo1778前兆の対応地震発生時期である可能性が示唆されることとなります。



・現状の状況からは最終確認は1/13になりますが、その他1/14を支持する変化または1/14±を否定できる根拠変動が観測された場合等は続報でご報告させていただきます。

・前兆解析で誤認がある場合は推定内容と実際が異なる可能性があり得ます。その場合は深く陳謝申し上げます